

タイトル

ウチソトの間合

タイプ 持家共同建

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造

講評

金属サッシの手前に木製サッシを作るなど、無機質なデザインを避け、色や素材を工夫した温かみとこだわりのある住環境を創出している。サッシの間やホールなど、状況に応じてウチとしてもソトとしても使える空間がゆとりを生んでいる。

リフォーム・リノベーション前後の写真



①ダイニング全景。左の窓の先は東に面したバルコニー。
既存アルミサッシの手前に木製サッシを設置し温熱環境を調整している。



⑤ダイニングからバルコニーを見る。
アルミサッシと木製サッシの間に空間を設け、ゆとりを生んだ。



⑥ダイニングからリビングを見る。
既存の出窓には木製サッシを設置し温熱環境を調整している。



②玄関からホールを見る。
外部と内部を繋ぐ路地のような土間



③ホールから玄関を見返す。
床は大谷石。湿度を調整する効果もある。



④キッチンから子ども室を見る。
既存サッシの前にベンチを設けた。



⑦キッチンと可変式の子ども室を見る。(扉を閉めると個室になる)
キッチンカウンターは手元を隠すために立ち上げている。

リノベーション前の写真



Ⓐ 既存写真1
玄関からホールを見る。



Ⓑ 既存写真2
和室からバルコニーを見る。



Ⓒ 既存写真3
LDK全景。



Ⓓ 既存写真4
LDから和室方向を見る。

リフォーム・リノベーション前（平面図（必須）、その他従前の特徴を表す図面等）



リフォーム・リノベーション後（平面図（必須）、展開図などデザインの特徴を表している図面等）



提案された住まい方やまちへの貢献に関するデザイン上の工夫など

ご夫婦それぞれの職場や実家に近い場所を選んで中古マンションを購入したことからこの住まいが生活の起点になることを意識して居心地の良い住まいを設計することを心掛けました。具体的には角部屋であることから東と南の二方向に既存の窓があり、明るく気持ちの良い窓辺につくり込むことで自然と家族が集まるようなプランを提案しました。また角部屋であるがゆえ、旗竿敷地のような独特の形状をしており、殺風景だった既存の廊下をギャラリーのような奥行のある土間空間に設え直しました。既存の形状を活かした長い土間は内と外の間合いをとることができるので気持ちの切り替えや床に使用した大谷石の効果により空気の質を変える場となります。素材には無垢材のフローリングや自然石、木を用いることで経年変化を楽しめ、永く愛着を持って暮らせるようにしています。既存の建物の良さや特徴を活かすリノベーションができれば次の10年、20年も積極的に住むことができ、結果として既存ストックを活かすことにつながりまちの風景を継承することができると思っています。

デザインに反映した居住者（住まい手）のニーズ

暑さ、寒さが苦手という奥様の意見を反映して窓廻りのデザインを考えました。全ての開口部（窓とドア）には奥行を与えています。窓には既存アルミサッシの室内側に木製の建具を設置することで温熱環境を整えました。玄関ドアの内側は長い土間空間を設けることで外部の温度をダイレクトに取り入れることなく大きな気積で空気の質を変えることを意図しました。また設備面では外壁に面していない壁面にエアコンを設置したり、事前に実験をすることで床暖房と無垢フローリングの併用を実現しました。

居住者（住まい手）の感想

当初から希望していた飾り棚や収納も充実していて気に入っています。間取りや動線にストレスがなく気持ち良く生活しています。朝起きた時や帰ってきた時に自分の家の良さを実感しています。

データ

○所在地 ○築後年数 年 ○工事費 万円 ○工事期間 日間 ○設計会社 / 担当者

○用途地域 ○敷地面積 m² ○建築面積 m² ○リフォーム部分面積 m² ○施工会社 / 担当者

○居住者構成 総人数 人 / うち15歳未満 人 / うち65歳以上 人 / ペット

単独 夫婦のみ 夫婦+子 親+夫婦+子 (三世代) ひとり親+子

その他の親族 (親族関係者のみ) 親族以外 (シェア居住の場合など) その他

○性能向上の特性 耐震性能 高齢者等への配慮 (バリアフリー) 省エネルギー対策

防犯性能 維持管理対策 室内空気環境 その他 ()



タイトル